

在宅生活改善調査 利用者票（データ版）

本調査は、データ（エクセル形式）へ回答を入力する方法で実施します。入力、下記コメントのように、プルダウンから必要な項目を選択する等により行います。

在宅生活改善調査 利用者票

「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方のうち「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」についてお答えください。

例えば「頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、定期巡回サービスの利用がより適切と思う利用者」、「認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と思う方」が対象です。

の中に、●●年●月●日現在の状況について回答してください。

→ 設問の一部を抜粋しています	問1-1	問1-3	問2-1	問3-1	問3-2
	世帯類型	要支援・要介護度	本人の状態等に属する理由	どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか	問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービス
	1. 独居 2. 夫婦のみ 3. 単身の子供との同居 4. その他の同居	1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 8. 新規申請中	1 該当なし 2 必要な生活支援の発生・増大 3 必要な身体介護の増大 4 認知症の悪化 5 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり 6 その他、本人の状態等の悪化 7 本人の状態等の改善	※ 実際にサービスがあるかないかに関わらず、利用者にとって適切と思うサービスを選択してください。 1. より適切な「在宅サービス」に変更 （例：小多機等） 2. より適切な「住まい・施設等」に変更 （例：サ高住、特養への入居（所）等） 3. より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更 （例：定期巡回の利用、もしくは特養への入所等） 4. 「1.」～「3.」では、改善は難しい ⇒【問3-2以降の回答は不要】 ※ 「在宅サービス」と「住まい・施設等」の定義は、問3-2を参照	※ 住まい・施設等（「12.」～「19.」）を1つでも選択した場合は、問3-3以降も回答 1 ショートステイ 2 訪問介護 3 夜間対応型訪問介護 4 訪問看護 5 訪問リハ 6 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7 定期巡回サービス 8 小規模多機能 9 看護小規模多機能 10 0訪問診療 11 1居宅療養管理指導 12 2住宅型有料 13 3サ高住（特定施設除く） 14 4軽費老人ホーム 15 5グループホーム 16 6特定施設 17 7介護老人保健施設 18 8介護老人ホーム 19 9特別養護老人ホーム
	(1～4のうち、1つ選択)	(1～8のうち、1つ選択)	(1～7のうち、あてはまるものすべてに○)	(1～4のうち、1つ選択)	(【問3-1で「1.」「3.」を選択した場合】1～11のうち、あてはまるもの1つ以上に○) (【問3-1で「2.」「3.」を選択した場合】12～19のうち、あてはまるもの1つ以上に○)
	1人目 2人目 3人目 4人目 5人目 6人目 7人目		1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

該当する選択肢を1つのみ
 選択するものは、
 該当番号を入力、もしくは、
 プルダウンから選ぶ。

該当する選択肢を複数
 選択するものは、
 プルダウンから
 「○」を選ぶ。

設問によっては、
 選択した回答により、次の問以降の選択肢が変わることがある。
 問3-1で「2」を選択した場合、
 問3-2は、「12～19」の選択肢しか選択できない。